



学校沿革 (抄)

- 昭和23年 4月1日 栃木県立矢板農学校が新学制により矢板高等学校となり、普通科・家庭科・農業科をおくと同時に、定時制課程併設
- 昭和47年 4月1日 栃木県立矢板東高等学校として分離独立(全日制課程普通科4学級、商業科2学級、定時制課程普通科1学級)
- 平成4年 6月3日 創立45周年記念式典挙行
- 平成5年 4月1日 商業科募集停止 普通科2学級増(6学級)
- 平成7年 2月4日 商業科閉科式典挙行
- 平成9年度 創立50周年記念事業(絵画購入、運動部室移築、庭園整備、生徒短期海外派遣等)
- 平成12年 3月 PTA・同窓会がカンボジアに小学校建設
- 平成17年 4月1日 全日制課程普通科1学級減(5学級)
- 平成20年11月5日 創立60周年記念式典を挙行
- 平成23年 4月1日 附属中学校設置
- 平成24年 4月1日 附属中学校開校(2学級)、全日制課程普通科1学級減(4学級)
- 平成30年 3月1日 附属中学校一期生高等学校卒業

平成30年3月までの卒業生数17,115名

教育目標 (育成する生徒像)

高い志を抱き、次代を力強く担うリーダーの育成

- ・深い教養と高い学力を身に付け、進んで自己の道を切り拓く生徒
- ・他者を思いやる心深く、意欲的に社会に貢献する生徒
- ・心身ともに健やかで、活力にあふれ実践力のある生徒



生徒指標

- 至誠礼讓
- 進取究明
- 和敬信愛
- 自主創造

教育の指針

- 文武両道
- 授業第一主義

校章の由来

校章は、「東高」の「ひ」とHigh Schoolの「H」のイメージに「矢板」の「Y」を重ねたデザイン。中央の○は太陽をイメージしている。



学校の特徴

矢板東高校は、附属中学校を併設する、県内で3校目の公立中高一貫教育校です。創立70周年を迎え、今年度には記念行事が実施されます。本校は「高い志を抱き、次代を力強く担うリーダーの育成」を教育目標に掲げ、「文武両道」と「授業第一主義」を教育の指針としています。生徒が勉強と部活動を両立させながら、自己の夢の実現を目指せるよう、進学指導に力を入れた教育を展開しています。体育大会、球技大会、矢東祭や合唱コンクールなど学校行事も盛んです。広い敷地や豊富な緑地など、豊かな環境に恵まれ、各教室はPTAによるエアコンが完備されています。中高一貫導入に伴い、特別教室棟や200人収容の東雲ホールも整備し、集会や講演会に活用しています。

学習指導面では、数学と英語において1年生から習熟度別少人数授業を実施しています。さらには土曜補講や夏季課外、学習合宿の実施など、充実した指導を通して、生徒の学力の伸長を図っています。

学校行事には、夏休みに1学年全員参加で実施する会津磐梯方面への2泊3日の教育キャンプや、1学年の希望者を中心に実施する短期海外研修などもあり、本校の魅力の一つとなっています。